



令和7年度

自殺関連相談オンライン研修会

参加費
無料

身近な人を自死で亡くした方は、怒りや自責の念、罪悪感、否認、混乱や拒絶など様々な感情を抱くことがあるといわれています。また、誤った認識や偏見によって、悩みや苦しさを打ち明けづらい状況があるとされています。

本研修会は、発達段階に応じて死に対する理解や反応が異なる自死遺児等について理解し、接する際の基本的な姿勢等について学ぶために開催します。

地域の支援者・住民として、何ができるか、一緒に考えてみませんか。

日 時 令和7年10月17日(金)
午後1時30分から3時30分

開催方法 オンライン(ZOOM) ※オンデマンド配信は行いません

内 容 講演「身近な人を自殺で亡くした子どもの理解」(仮)
講師 特定非営利活動法人自死遺族支援ネットワーク Re
代表 山口 和浩 様

対 象 自殺対策や自死遺族(児)支援に関わる支援者、一般県民

申込方法 以下の URL もしくは QR コードからお申込みください

https://apply.e-tumo.jp/pref-nagano-u/offer/offerList_detail?tempSeq=60657



申込締切 令和7年10月3日(金)

そ の 他 視聴に必要な機材は各自でご用意ください。
視聴に係る通信料は参加者自身でご負担ください。



(山口和浩氏 プロフィール)

1981 年、長崎県生まれ。中学 2 年生の時、父親を自死で亡くす。大学生時代は「あしなが育英会」あしなが運動を中心にボランティア活動に実名と顔を公表して関わり、遺児の仲間と手記「自殺って言えなかった。」(サンマーク出版)を出版。大学卒業後、社会福祉法人カメリア(児童心理治療施設大村椿の森学園)に勤務する傍ら 2006 年から NPO 法人「自死遺族支援ネットワーク Re」を立ち上げ、自殺対策にも関わる。大村市を中心に長崎県内で複数の「自死遺族のつどい」を開催。長崎県内での自殺対策に関係する委員等を多数務め、2021 年より厚生労働省自殺総合対策の推進に関する有識者会議委員。

(主催) 長野県精神保健福祉センター(自殺対策推進センター)
(問合せ先) 026-266-0280